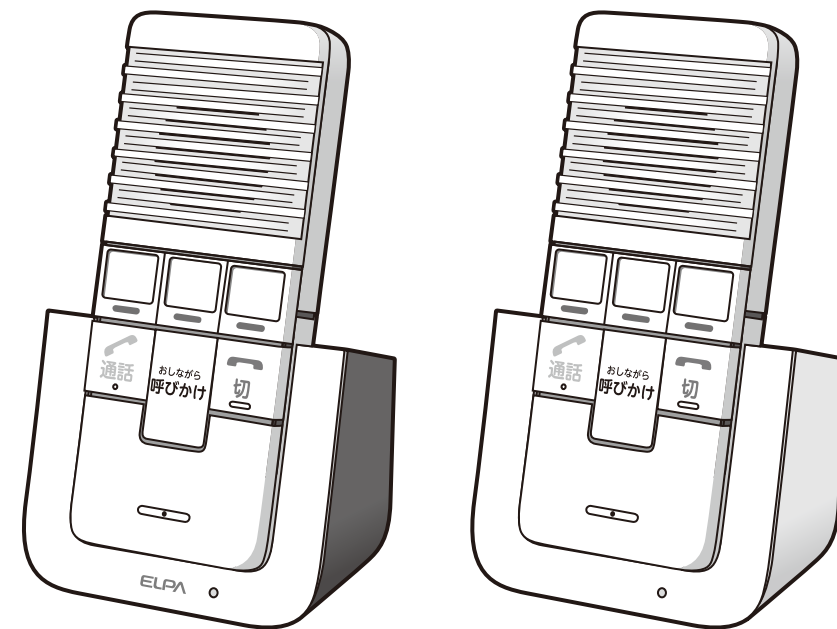


ELPA
WIP-5150SET

取扱説明書

保証書付

DECT ワイヤレスインターホン



お客様へのお願い

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

190308A

目次



安全上のご注意	1	子機の増設について	12
使用上のご注意	3	子機を登録する	12
セット内容と付属品	4	全ての子機の登録を解除する	12
各部の名称と機能	4	子機の登録番号の確認	13
ご使用前の準備	6	子機番号ボタンの割当	13
子機を充電する	6	その他 便利機能	14
壁掛けで使用する場合	6	親機から子機を探す	14
着信音量を設定する	7	その他	15
着信音を設定する	7	お手入れについて	15
通話音量を設定する	7	充電電池の交換について	15
子機を増設して使用する	7	故障かな…?と思ったら	16
ご使用方法	8	仕様	17
指定先と会話する	8	保証書	18
指定呼びかけ	9		
一斉呼びかけ	10		
一斉呼び出し	11		

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。












■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。
 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	--

警告 本機について

- | | |
|---|--|
|  分解禁止
分解・修理・改造しない
火災や感電の原因となります。
修理は販売店へご相談ください。 |  禁止
本セットは交流100V以外の電源電圧で使用しない
発熱による火災の原因となります。 |
|  禁止
機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない
火災や感電の原因となります。 |  禁止
指定以外の機器は接続しない
火災や感電の原因となります。 |
|  禁止
たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
発熱による火災の原因となります。 |  禁止
湿気や湯気、ほこりの多い場所や、油や薬品がかかる恐れのある場所では使用しない
火災や感電の原因となることがあります。 |
|  禁止
付属の AC アダプター以外の電源を使用しない
火災・感電・故障の原因となります。 |  禁止
付属の AC アダプターを他の製品に使用しない
故障の原因となります。 |
|  禁止
雷が鳴りだしたら、本体や AC アダプターに触れない
感電の原因となります。 |  禁止
次のような場所や条件で使用しない
本機からの電波が影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。 |
|  禁止
電源のコードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。
また、重いものを載せたり、挟みこんだりしない
コードが破損し、火災や感電の原因となります。 | ● 病院内で使用が禁止された場所や医療機器の近く(手術室、集中治療室、CCU※など)
※CCU・・・冠状動脈疾患監視病室
● 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
● 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm 以内の位置 |

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

警告 本機について



ACアダプターの抜き差しは必ず AC アダプター本体を持って行う
コードが断線して火災の原因となります。



ACアダプターは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



濡れた手で AC アダプターの抜き差しをしない
感電の原因となります。



ACアダプターのほこりは乾いた布で定期的にとる
プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。



煙が出たり、変なにおいがしたときは AC アダプターを抜く、または電源ブレーカーを切る
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

注意 本機について



不安定な場所や振動の多い場所では使用しない
落下により、ケガや機器が損傷することがあります。



機器の上に物を置いたり、布などで覆わない
火災、故障の原因となります。



スピーカーに耳を近づけて使用しない
急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因となることがあります。

警告 充電電池について



火中に入れない。ショートさせたり分解、加熱しないでください。
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



指定の充電電池以外は使用しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



付属の充電電池を、この機器以外で使用しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



接続端子の向きを正しく、確実に奥まで接続する
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



専用の充電台を使用して指定の充電電池を充電する
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



電池が液もれしたときは素手で触らない
●液が体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
●液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。



金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



電池蓋を締めるときには、充電電池のコードをはさまない
コードを破損すると充電電池の発熱・破裂により、やけどやけがのおそれがあります。

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

注意 充電電池について



火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



充電電池を落下させたり、投げつけたり、強い衝撃を与えない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



充電電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
※電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

使用上のご注意

■充電台親機、子機は次のようなところには設置しないでください

- 温度変化の激しいところ (結露による誤動作の原因)
- 直射日光の当たるところ・冷暖房機の近く (40℃以上、0℃以下は誤動作・変形・故障の原因)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの OA 機器のそば (雑音が入ったり、通話が途切れたりする原因)
- CSデジタル放送受信機器 (チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど) の近く (CSデジタル放送の画像が乱れる原因)

※雑音が入ったり、通話が途切れたりする場合は下記の電波の特性を参照していただき、親機と子機を移動させてください。

■電波の特性について

- 本品は障害物がない場合は見通し距離約100m以内で使用できますが、次のような場合は電波が届きにくくなり、使用できない場合があります。
 - ・機器の間に壁が何枚もある場合
 - ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
 - ・別の階や別の建物の間で使用する場合
 - ・次の障害物がある場合
 - ・コンクリートの壁
 - ・金属製の扉や雨戸
 - ・トタンなどの金属製の外壁材
 - ・金属箔が含まれる断熱材
 - ・金属製の家具など
- 鉄骨や鉄筋コンクリートの建物 (マンションなど) では通信距離が短くなります。



■電波について

- 本機は1,895.616~1,902.528MHzの帯域を使用する無線設備です。
- 本機は、Digital Enhanced Cordless Telecommunications に準拠した日本国内向けの通信方式です。 **J-DECT**
1.9GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。
(一般社団法人電波産業会標準規格「ARIBSTD-T101」準拠)

1.9-D

●本機の使用周波数に関するご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、設置場所の移動を行い、お互いに干渉が起きないようにしてください。

■通話傍受について

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用しているため、第三者が故意に傍受する可能性も考えられます。

■その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。

セット内容と付属品

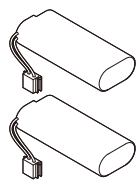


充電台親機
(型番:WIP-P51)

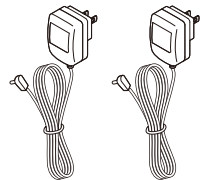
充電台
(型番:DHS-J1)

子機…2台(型番:WIP-P50)

付属品



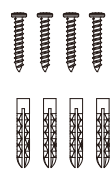
充電電池×2個
(交換用型番:TSA-220)



ACアダプター×2個
(コード長:約1.8m)



子機番号用
シール×1枚

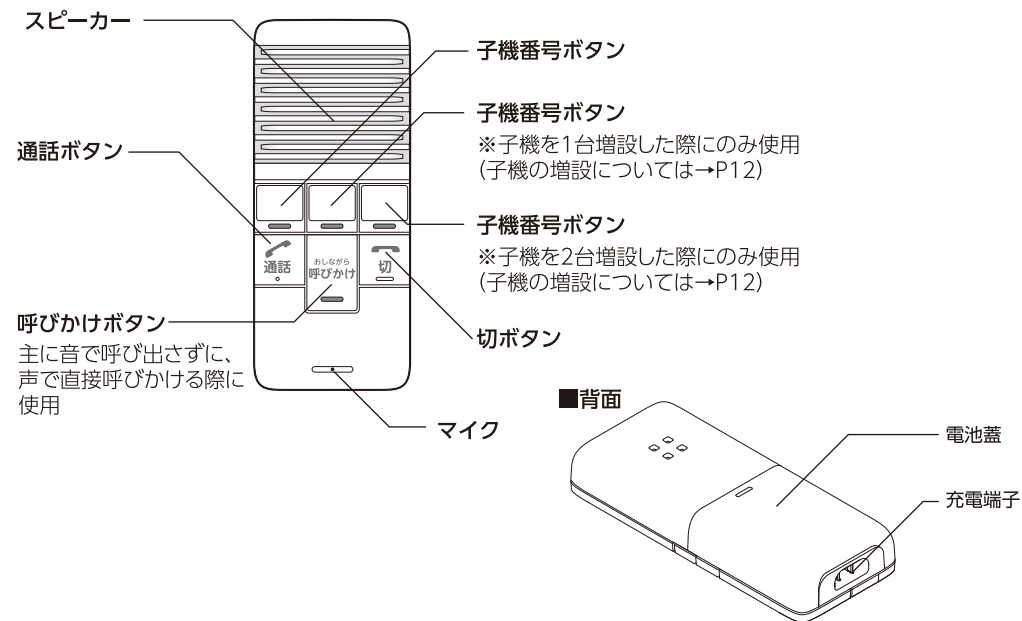


取付用ネジ×4本
(Φ4mm×25mm)

スリーブ×4本
(Φ6mm×30mm)

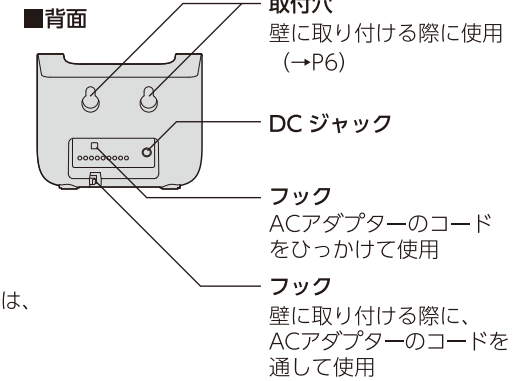
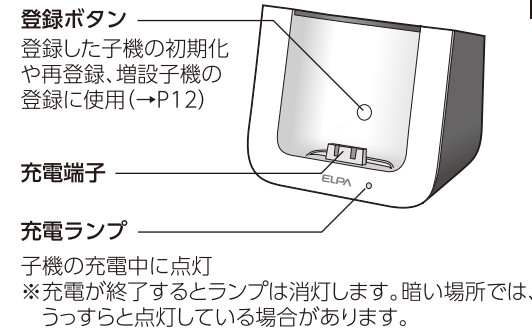
各部の名称と機能

子機

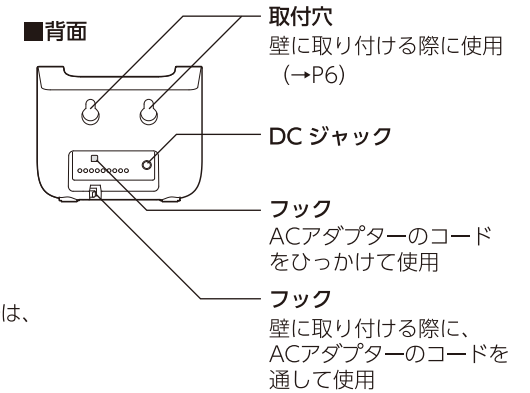
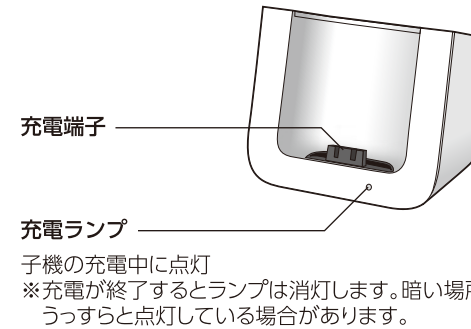


各部の名称と機能(つづき)

充電台親機

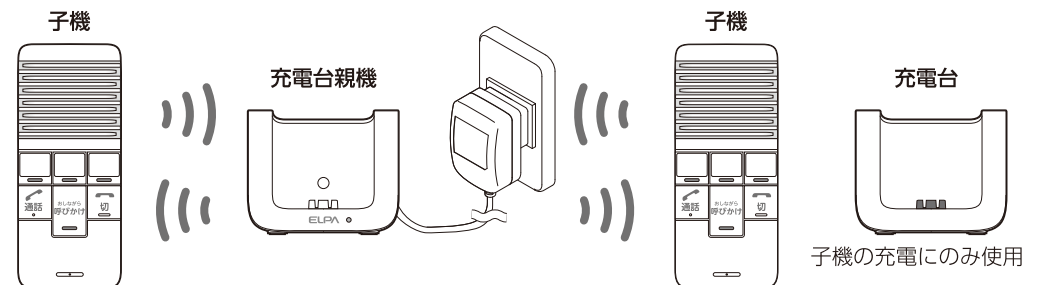


充電台



通信の仕組み

子機同士の通信は充電台親機を介して通信します。
充電台親機をコンセントに差さなければご使用できません。
また、増設する子機の登録や初期化は充電台親機で行います。

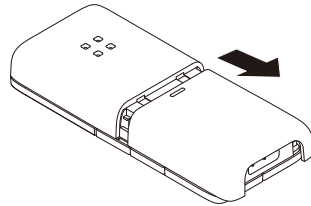


ご使用前の準備

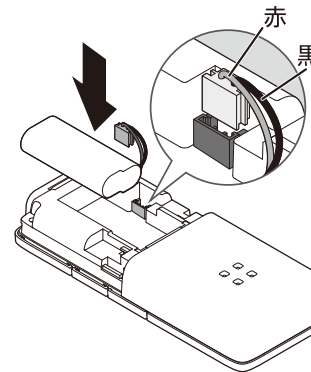
■子機を充電する

お買い上げ時、子機には充電電池が装着されておりません。
まずはじめに充電電池を装着の上、5時間程度充電してからご使用ください。
(満充電にはなりません。満充電にするためには15時間程度充電してください。)
※ご使用にならないときは充電台に置いて充電してください。

1 子機の電池蓋をスライドして開ける



2 充電電池のコネクターを向きに注意して、本体の充電端子に差し込む



3 電池蓋を閉める

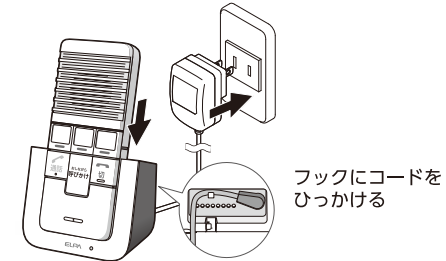
充電電池を内部に収め、蓋を閉めてください。

4 充電台にACアダプターを差し込む

ACアダプターのプラグを充電台のDCジャックにしっかり差し込んでください。

5 ACアダプターをコンセントに差し込み、子機を充電する

子機を充電台にセットするとピーと鳴り「充電ランプ」が点灯し、充電が始まります。
※充電が終了するとランプは消灯します。暗い場所では、うっすらと点灯している場合があります。

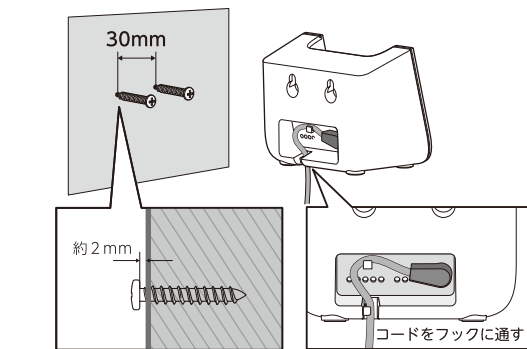


電池残量警告

子機の「呼びかけボタン」が赤色で10~15秒間隔で点灯している場合は、電池残量不足ですので、速やかに充電してください。

■壁掛けで使用する場合

充電台は置いて使用する他に、壁や柱に取り付けて使用することができます。



ネジを本体の取付穴にはめて、下に押し下げしっかりと固定する

※コンクリートなどの木ネジが直接使用できない場所には付属のスリーブを使用してください。

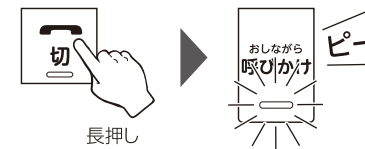
6

ご使用前の準備(つづき)

■着信音量を設定する

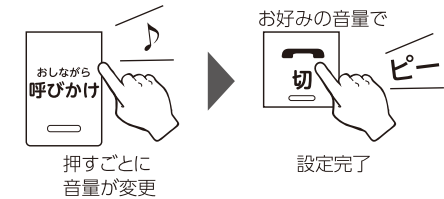
子機ごとに着信音量を無音、または5段階で設定が可能です。

1 子機の「切ボタン」を長押しすると「呼びかけボタン」のLEDが早く点滅し「ピー」と音が鳴ります



※何も操作しなければ約20秒で設定モードが終了します。

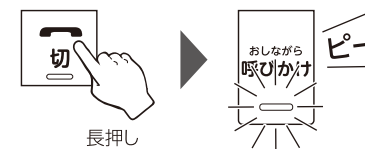
2 「呼びかけボタン」を押すごとに着信音量が変更され、好みの着信音量で「切ボタン」を押すと、「ピー」と鳴って設定が完了します。



■着信音を設定する

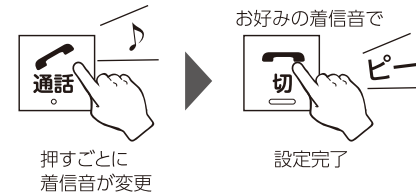
子機ごとに3種の着信音からお好みで設定が可能です。

1 子機の「切ボタン」を長押しすると「呼びかけボタン」のLEDが早く点滅し「ピー」と音が鳴ります



※何も操作しなければ約20秒で設定モードが終了します。

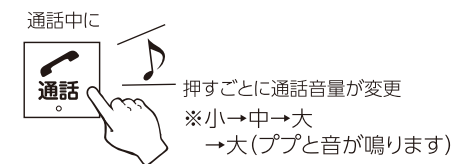
2 「通話ボタン」を押すごとに着信音が変わり、好みの着信音で「切ボタン」を押すと、「ピー」と鳴って設定が完了します。



■通話音量を設定する

子機ごとに通話音量を3段階で設定が可能です。

1 通話中に「通話ボタン」を押すごとに音量が変更できます。



■子機を増設して使用する

子機を最大4台まで登録して使用できます。
増設方法については→P12「子機を増設について」を参照

7

ご使用方法

※「ご使用方法」は子機を増設した場合の使用方法も含めて記載しています。
※発信側は緑のLEDが点灯し、着信側は赤のLEDが点灯します。

■指定先と会話する

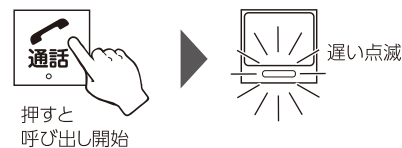
指定した子機を音で呼び出して、双方向に通話

- 1** 呼び出したい子機の「子機番号ボタン」を押すとLEDが早く点滅します。

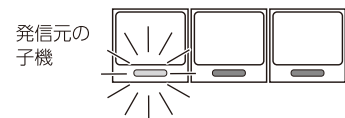
子機を増設していない場合は左端の「子機番号ボタン」を押してください。増設した場合はP13「子機番号ボタンの割当」を参照



- 2** 「通話ボタン」を押すと、呼び出しが開始され「ピー、ピー」と音が鳴り、「子機番号ボタン」のLEDが遅い点滅に変わります。

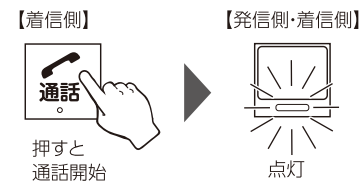


- 3** 着信側は発信側の「子機番号ボタン」のLEDが点滅し、着信音が鳴ります。



呼び出しは約30秒です。着信側は「切ボタン」で呼び出し音を消すことができます。呼び出し自体は発信側の「切ボタン」を押さない限り終了しません。

- 4** 着信側の「通話ボタン」を押すと通話できます。双方のLEDが点灯します。



※子機同士が近いとハウリングしますので、離れてテストしてください。

ご使用方法(つづき)

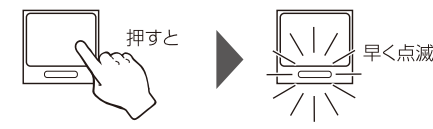
※「ご使用方法」は子機を増設した場合の使用方法も含めて記載しています。
※発信側は緑のLEDが点灯し、着信側は赤のLEDが点灯します。

■指定呼びかけ

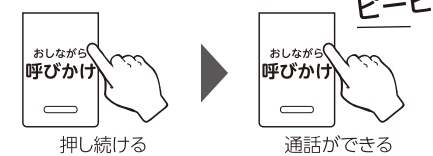
指定した子機に直接呼びかけて、双方向に通話

- 1** 呼び出したい子機の「子機番号ボタン」を押すとLEDが早く点滅します。

子機を増設していない場合は左端の「子機番号ボタン」を押してください。増設した場合はP13「子機番号ボタンの割当」を参照

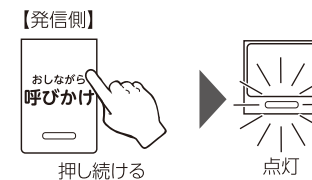


- 2** 「呼びかけボタン」を押し続けると「ピーピー」と鳴り、音が鳴り止んだ後、直接呼びかけができます。



着信側は、呼びかけ前に「ピロリン」と音が鳴り、LEDが1回点滅します。

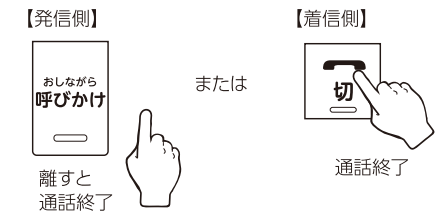
- 3** 通話が開始されると双方のLEDが点灯し、双方向で通話できます。



※通話中、発信側は「呼びかけボタン」を押し続けてください。

※子機同士が近いとハウリングしますので、離れてテストしてください。

- 4** 発信側が「呼びかけボタン」を離すと通話が終了し、「子機番号ボタン」のLEDが消灯します。通話後は充電台に戻してください。



※「呼びかけボタン」を押し続けて約1分経過すると呼びかけが終了し、「呼びかけボタン」のLEDが消灯します。呼びかけ後は充電台に戻してください。

一度通話が終了し、その後すぐに通話を開始しようとしても「プププ」とエラー音が鳴り通話できません。少しお待ちいただいてから再度操作してください。

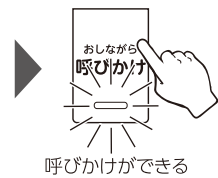
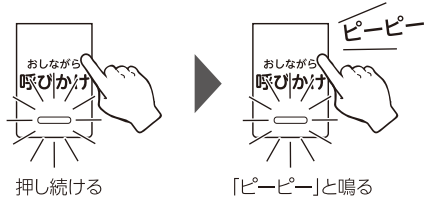
ご使用方法(つづき)

※「ご使用方法」は子機を増設した場合の使用方法も含めて記載しています。
 ※発信側は緑のLEDが点灯し、着信側は赤のLEDが点灯します。

■一斉呼びかけ

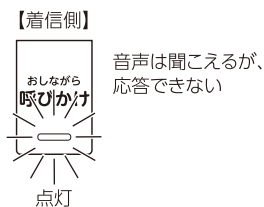
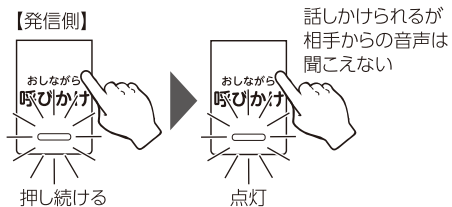
全ての子機に呼びかけできますが、一方向になり通話はできません。

- 1** 「呼びかけボタン」を押し続けると、「呼びかけボタン」のLEDが点滅し「ピーピー」と鳴り、鳴り止んだ後、全子機に呼びかけができます。



着信側は、呼びかけ前に「ピロリン」と音が鳴り、LEDが1回点滅します。

- 2** 呼びかけが開始されると、発信側も着信側も「呼びかけボタン」のLEDが点灯します



※呼びかけ中、発信側は「呼びかけボタン」を押し続けてください。
 ※子機同士が近いとハウリングしますので、離れてテストしてください。

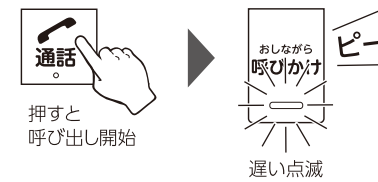
ご使用方法(つづき)

※「ご使用方法」は子機を増設した場合の使用方法も含めて記載しています。
 ※発信側は緑のLEDが点灯し、着信側は赤のLEDが点灯します。

■一斉呼び出し

全ての子機を一斉に音で呼び出して、一番最初に通話ボタンを押した子機と双方向に通話

- 1** 「通話ボタン」を押すと、「ピー」と音が鳴り「呼びかけボタン」のLEDが点滅し、全ての子機を呼び出します。

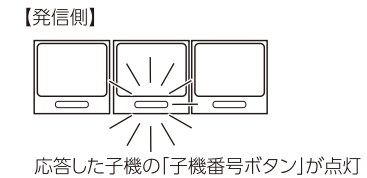
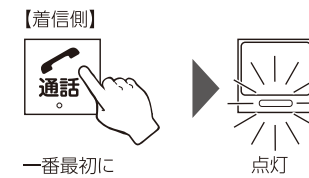


- 2** 着信側は発信元の「子機番号ボタン」のLEDが点滅し、着信音が鳴ります。



※呼び出しは約30秒です。
 着信側は切ボタンで呼び出し音を消すことはできませんが、呼び出し自体は発信側の切ボタンを押さない限り、終了しません。

- 3** 着信側で一番最初に「通話ボタン」を押した子機と通話ができます。それ以外の子機は呼び出しが終了します。通話がつながった子機の「子機番号ボタン」が点灯します。



※子機同士が近いとハウリングしますので、離れてテストしてください。

- 4** どちらかの「切ボタン」を押すと通話が終了し、「子機番号ボタン」のLEDが消灯します。通話後は充電台に戻してください。



※子機を充電台に置いて、通話は終了しません。

一度通話が終了し、その後すぐに通話を開始しようとしても「ブアップ」とエラー音が鳴り通話できません。少しお待ちいただいてから再度操作してください。

子機の増設について

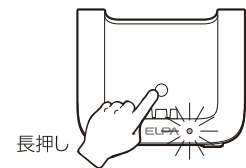
■子機を登録する

本品は子機を最大4台登録してご使用いただけます。
増設用子機「WIP-50」をお買い求めください。

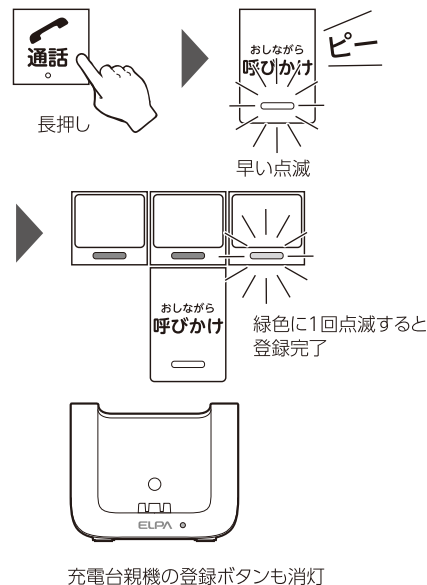
本品の子機2台は工場出荷時に登録済みですので、増設しない場合は以下の登録作業は不要です。

1 増設する子機を充電する(→P6)

2 充電台親機の「登録ボタン」を約5秒間長押しすると、充電ランプが早く点滅します。



3 登録したい子機の通話ボタンを約7秒長押しすると「ピー」と鳴り、「呼びかけボタン」のLEDが早く点滅します。その後、「ピー」と再度音が鳴り、「子機番号ボタン」のLEDが1回点滅すると登録完了となります。

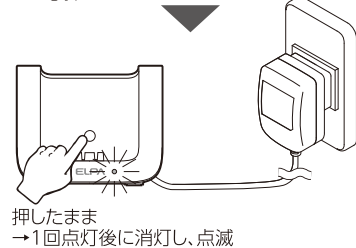
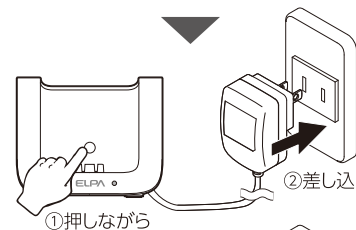
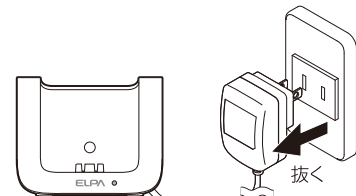


※さらに複数台登録する場合は、以上の登録作業を繰り返してください。
※子機の増設登録をするときは、必ず登録済み子機を充電し、使用できる状態で通話圏内に置いてください。

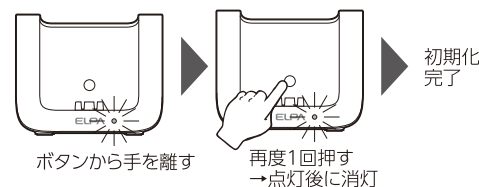
■全ての子機の登録を解除する

子機の登録を解除できます。
※1台ずつ個別に登録解除することはできません。全解除となります。

1 一旦、充電台親機のコンセントを抜き、「登録ボタン」を押しながらコンセントを入れます。(ACアダプターを差します) 充電台親機のLEDが1回点灯し、さらに「登録ボタン」を押したまま5秒以上待つと、点滅を開始します。



2 点滅中に手を離し、再度「登録ボタン」を1回押しと10秒後にLEDが1度点灯し子機の登録が初期化されます。

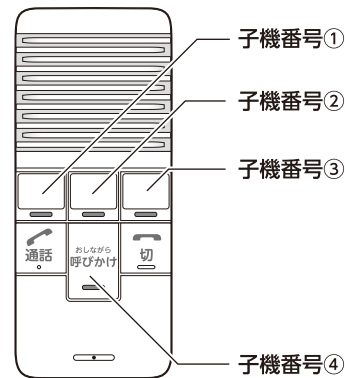
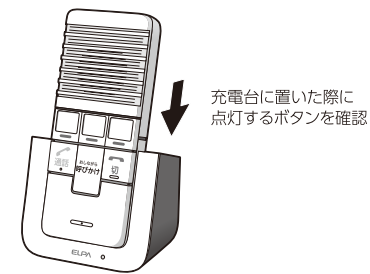


※LED点滅は5秒間で、再度「登録ボタン」を押さず5秒経過すると初期化せず通常の待機状態に戻ります。
※子機の「呼びかけボタン」が赤く点滅している場合、その子機は登録されていない状態です。

子機の増設について(つづき)

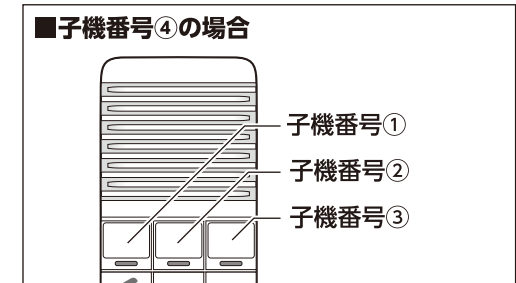
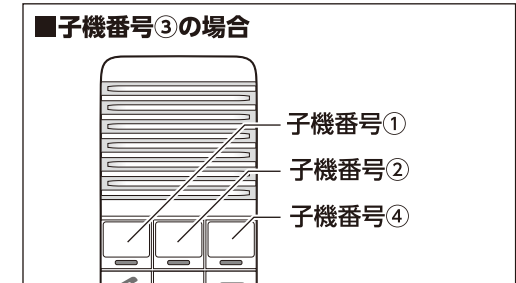
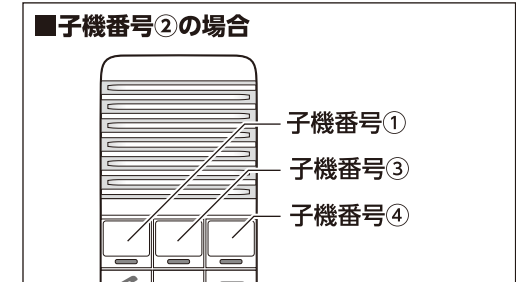
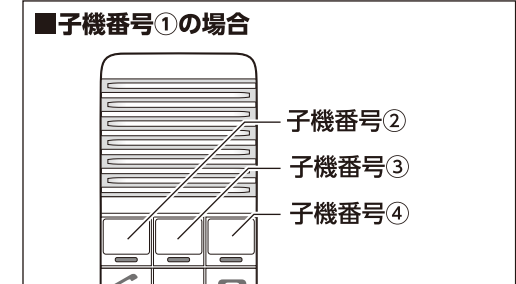
■子機の登録番号の確認

子機は登録した順番に番号が割り当てられます。
子機の登録番号を確認するには、充電台に設置した際に点灯するボタンをご確認ください。



■子機番号ボタンの割当

子機の登録番号によって「子機番号ボタン」の割当が異なりますので、発信・着信時にご確認ください。



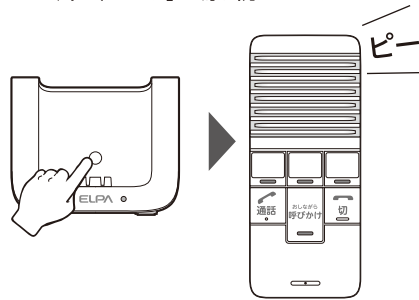
子機番号の間違いを防ぐために、付属の「子機番号用シール」をご利用ください。

その他 便利機能

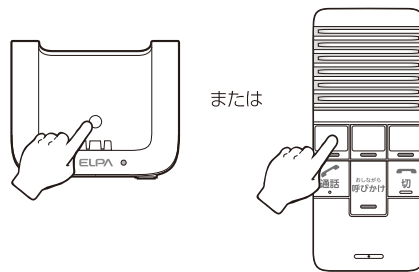
■親機から子機を探す

充電台親機から子機を探すことができます。

- 1 充電台親機の登録ボタンを押すと、全ての子機が一斉に「ピーツ」と鳴り続けます。



- 2 充電台親機の登録ボタン、またはいずれかの子機のボタンを押すと音が鳴り止みます。



その他

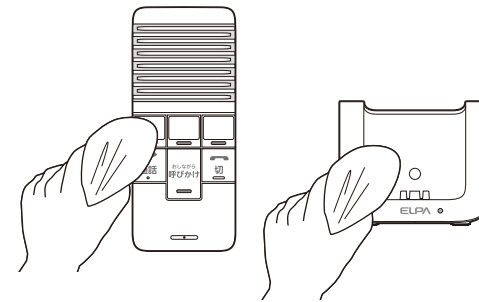
■お手入れについて

汚れたときは

ACアダプターを抜いて、柔らかい布で本体を拭いてください。

※汚れがひどいときは、水を含ませて硬く絞った布で拭き取ってください。

お手入れに使用できないもの
ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、
洗剤などは表面をいためます



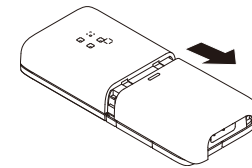
■充電電池の交換について

充電電池は消耗品です。充電しても、数回使うと電池残量が無くなる場合は新しい充電電池と交換してください。

別売交換用充電電池
品名：コードレス電話機用充電電池(2.4V 800mAh)
品番：TSA-220

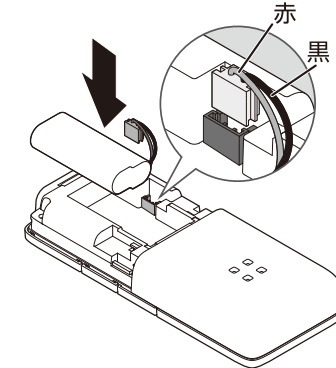
お求めは本品お買い上げの販売店までお問い合わせください。

- 1 電池蓋を開ける



- 2 古い充電電池を外す

- 3 新しい充電電池をコネクタの向きに注意して入れて、15時間程度充電する



- 4 電池蓋を閉める

充電電池を内部に収め、蓋を閉めてください。

廃棄するときのお願い

※本品にはニッケル水素充電電池を使用しています。
ニッケル水素充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。



※ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニッケル水素充電電池を取り出し、各自治体の処理方法に従うか、リサイクル協力店にお持ちください。

故障かな…?と思ったら

症状	原因と対策
誤動作する または、動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●子機の電池残量は十分ですか？ ⇒充電を行なってください(→6ページ) ●電波到達距離がぎりぎりの場所に取付けていませんか？ ⇒障害物がある場合は電波到達距離内であっても繋がりにくくなります。 取付け場所を変更してください。 ●近くで電子レンジや無線LANなどを使っていませんか？ ⇒これらの機器から離して使用してください。 ●充電台親機と子機は登録されていますか？ ⇒登録が解除されている場合があります。再度登録を行ってください。 (→12ページ) ●子機がスリープモードになっている場合があります。 充電台親機の電源が入っていない状態か、親機と子機の登録がされていない場合、約5分以上経過すると子機の電力節約のためスリープモードになり、どのボタンを押しても反応しなくなります。 ⇒子機を充電台に置くか、充電電池を抜き差しすると待機状態になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>上記の対策を行っても改善されない場合は、下記の操作で子機の設定をリセットできます。</p> <p>子機の「切ボタン」を長押しすると「呼びかけボタン」のLEDが早く点滅し、「ピー」と音が鳴ります。その後、子機番号ボタン②→①→③→②の順に押し「切ボタン」を長押しすると再度「ピー」となり、約5秒後に全てのLEDが点灯し子機の設定がリセットされますので、再度登録してください(登録→12ページ)</p> </div>
受信状況が頻繁に悪くなる	<ul style="list-style-type: none"> ●下記のいずれかのような周辺環境下にある場合は、受信状況が悪くなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣に電波塔や工場、基地等がある場合 ・電波に影響を及ぼす機器を使用中の場合(テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器の側など)
雑音(ハウリング)がして通話ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●子機と子機との距離が近すぎると雑音(ハウリング)が聞こえることがあります。 ⇒5m以上離れた場所で使用してください。
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ●着信音量が0になっていませんか？ ⇒着信音量をチェックしてください。(→7ページ)
充電台親機に置いて も充電ランプが点灯 しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ACアダプターがコンセントまたは充電台親機から外れていませんか？ ⇒ACアダプターをコンセントまたは充電台親機にしっかり差し込んでください。 ●子機が充電台親機に正しく置かれていますか？ ⇒正しく置くと充電ランプが点灯します。 ●充電端子が汚れていませんか？ ⇒子機と充電台親機両方の充電端子を乾いた布でふいてください。
充電しても数回使うと 充電切れになる	<ul style="list-style-type: none"> ●充電電池の寿命です。 ⇒新しい充電電池に交換してください。(→15ページ) [コードレス電話機用充電電池 弊社型番:TSA-220]
充電が終了してもランプ が暗く点灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●通電確認の為、暗い場所ではうっすらと点灯する場合があります。

仕様

	充電台親機	充電台
電源	DC5V ACアダプター付属(コード長:約1.8m)	
消費電力	(待受時)約1.0W (充電時)約2.0W	(待受時)約0.1W (充電時)約1.1W
使用環境条件	0℃~40℃	
外形寸法(約)	幅85×高さ70×奥行57(mm)(最大値)	
質量	約70g	約60g

子機	
電源	ニッケル水素充電電池 DC2.4V/750mAh(交換用充電電池:弊社型番:TSA-220)
使用環境条件	0℃~40℃
無線通信方式	1.9GHz DECT準拠方式
通信可能距離	見通し約100m
チャイム音	3種類
充電時間	約15時間
連続使用時間	(通話時)約3時間 (待受時)約100時間
外形寸法(約)	幅57×高さ137×奥行22(mm)(最大値)
質量	約110g(充電電池含む)

付属品	充電電池×2個、ACアダプター×2個(コード長:約1.8m)、子機番号用シール×1枚 取付用ネジ×4本(Φ4mm×25mm)、スリーブ×4本(Φ6mm×30mm)
-----	--

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
 ※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。
 それ以外の責はご容赦ください。